

Living the

LOTUS

Buddhism in Everyday Life

2 2017

VOL. 137

開祖隨感

不平が自分を苦しめる

「口は禍の門」といいます。うっかり口にした言葉が、災難の元になるわけです。『懺悔經』ともいわれる『仏說觀普賢菩薩行法經』には、「舌根は五種の悪口の不善業を起す」と説かれ、また八正道の「正語」の教えでも、妄語(嘘)、兩舌(二枚舌)、悪口(わるぐち)、綺語(いいかげんな言葉)など、すべて自ら禍を呼び寄せる元になる、と戒めています。とりわけ修行の妨げになるのは、不平を口にするのではないでしょうか。

不平というものは、いったん口から出すと、その言葉によって自分の不平不満が倍にも三倍にもふくれ上がっていきます。そればかりでなく、まわりの人にも悪い影響を

及ぼしてしまうのです。自分の口ひとつで、なにもかもつまらないものにしてしまうわけです。これが自ら苦をつくりだす「苦語」です。

それとまったく逆に、どんなことにも満足して、それをいつも口に出して言うことにしている、という方がおられました。毎日の奥さんの料理でも「うまい、うまい」と口に出して言うと不思議においしくなるものだといわれるのです。

同じ口から不平の言葉が出るか感謝の言葉が出るかの違いで、人間関係も環境も、まるで違ったものになってしまいます。(『開祖隨感』9 P. 44-45)

Living the Lotus 2017年2月号 (Vol.137)

【発行】立正佼成会 国際伝道部

〒166-8537

東京都杉並区和田2-6-1 普門館5F

Tel: 03-5341-1124

Fax: 03-5341-1224

E-mail: living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp

編集責任者: 水谷庄宏

編集チーフ: 金尾江利子

校閲者: 吉田晃一郎

編集スタッフ: 国際伝道部スタッフ

立正佼成会は1938年に庭野日敬開祖、長沼妙佼協祖によって創立された、法華三部經を所依の經典とする在家仏教教団です。家庭や職場、地域社会の中で釈尊の教えを生かし、平和な世界を築いていきたいと願う人々の集まりです。現在は庭野日鏡会長とともに、私たち会員は仏教徒として布教伝道に励みながら、宗教界をはじめ各界の人々と手をたずさえ、国内外でさまざまな平和活動に取り組んでいます。

Living the Lotus—Buddhism in Everyday Life(法華經を生きる～生活の中の仏教)というタイトルには、日々の生活のなかに法華經の教えを活かして、泥水に咲く美しい蓮の花のように、人生を豊かに、そしてより価値あるものにしていきたいとの願いが込められています。本誌を通じて、世界中の人々に日々の生活のなかで活かせる仏教の教えをお伝えします。

気にしない人

立正佼成会会長 庭野日鏡



すべては仏のおはからい

私たちはふだん、いろいろなことを気にして暮らしています。そして、気にする必要のないことや、気にしても仕方のないことにとらわれて、悩んだり苦しんだりしていることも多いようです。日ごろ、人からの評価やうわさ話に、ふり回されていらいらしたり、まだ起きてもない先のことを心配して心を曇らせたりすることはないでしょうか。

ところが、世の中にはそういうこととはまるで無縁であるかのような人がいます。それはたとえば、ものごと^{とんじゃく}に頓着しない大らかなイメージの^{いっきゅう}一休さんや^{りょうかん}良寛さんです。逸話^{いつわ}で知る限り、人から悪口をいわれても気にしない、くよくよしない、悩まないといった羨ましい^{うらや}生き方に思えます。

では、この二人と私たちとの違いはどこにあるのかを考えてみましょう。まず思いつくのは、名誉^{りどく}や利得といった世俗の価値観にとらわれていないことです。私たちはつい、権威や世俗の価値に照らして人と自分の評価を比べ、さらにはものごとを損得勘定で判断しがちです。

ところが仏教では、出会う人も、身の回りで起きるできごとも、すべてが、私たちに大切なことを教える仏のはからいであると教えています。ものごとをそのように受けとめると、そこに優劣や序列や損得はありません。したがって、そういうことにとらわれる必要もないのです。

一休さんや良寛さんの目には、すべてが有り難い存在と映っていたのではないのでしょうか。



気にする必要のないこと

また私たちは、自分ではどうすることもできないことを気にして悩みます。先に挙げた人のうわさ話も将来に対する不安も、気にしたところで自分ではどうすることもできません。つまり、気にしても仕方のないことです。しかし、そうとわかっていても、私たちはいろいろと気にして悩み、その結果、不安や不満をかかえこんで苦しむのです。

かつて放送していたテレビアニメの「一休さん」のなかで、主人公の一休さんは、周囲で問題が起こると「気にしない、気にしない」「慌てない、慌てない、一休み、一休み」などという心の転換をはかっていました。以前、怒りがわいてきたら、真言のかたちを借りた「おんにこにこ はらたつまいぞや そはか」という言葉を唱えて気持ちを落ち着かせる方法をご紹介しましたが、不安や不満が募ったら、アニメの一休さんのような自分なりの「真言」を唱えてみてはどうでしょうか。そうして心の中に立ちこめる不安や不満の霧を吹き払うのです。また、歩くことも気分転換になりますから、のんびりと散歩をするだけで、よけいな煩いから離れられることもあるでしょう。

ただ、一時的にそうした心の転換をはかる一方で、一休さんや良寛さんのような「気にしない人」に本質的に変われたら、いつでも安心して生きることができます。幸いなことに、本誌を手にとされているみなさんは、二人が求めたのと同じ仏の教えに縁ある方々です。諸行無常、諸法無我、一切皆苦といった仏教の根本とともに、すべてを仏のおはからいと見ることや自らを深く省みることを繰り返し学ぶことで、「気にしない人」に自ずから変わっていくのだと思います。

ところで、私たちは気にしても仕方のないことまで気にするわりに、つねに心にとめておきたい大切なことは忘れがちです。その一つは「いま」です。過去や未来を思い煩うのではなく、「いま」をもっと大切に生きましょう。そして、人を思いやることを日々実践していきたいものです。

今月の十五日は、釈尊の涅槃会です。涅槃とは「すべての束縛から解脱すること」ですが、束縛を放れて思いやりで生きるのが、自由で明るい人生を約束するのです。

(『佼成』2017年2月号より)



どのような出会いも出来事も、 全て仏さまのお慈悲と受け止めて。

札幌教会支部長
坪内 祥江

この体験説法は、2016年8月7日にロシアのサハリン法座でのご命日式典で行われたものです。

私が佼成会に入会したきっかけは、死産したわが子の供養を願ってでした。初めて授かった子どもを出産するために入院したとき、看護婦さんがお腹の中にある赤ちゃんの心音を聞きに来て、急に切迫した様子になり、私は慌ただしく酸素マスクをつけられました。医師の診察を受けた後、病室に戻った私は、ただ必死に赤ちゃんの無事を祈っていました。しかし診察結果を聞きに行った主人は、医師から「残念ながら赤ちゃんは、亡くなっています」と告げられました。原因はへその緒が赤ちゃんの首にからまっての窒息死でした。私は病室に入って来た夫の表情からすべてを察しました。その夜は夫婦で泣き明かしました。

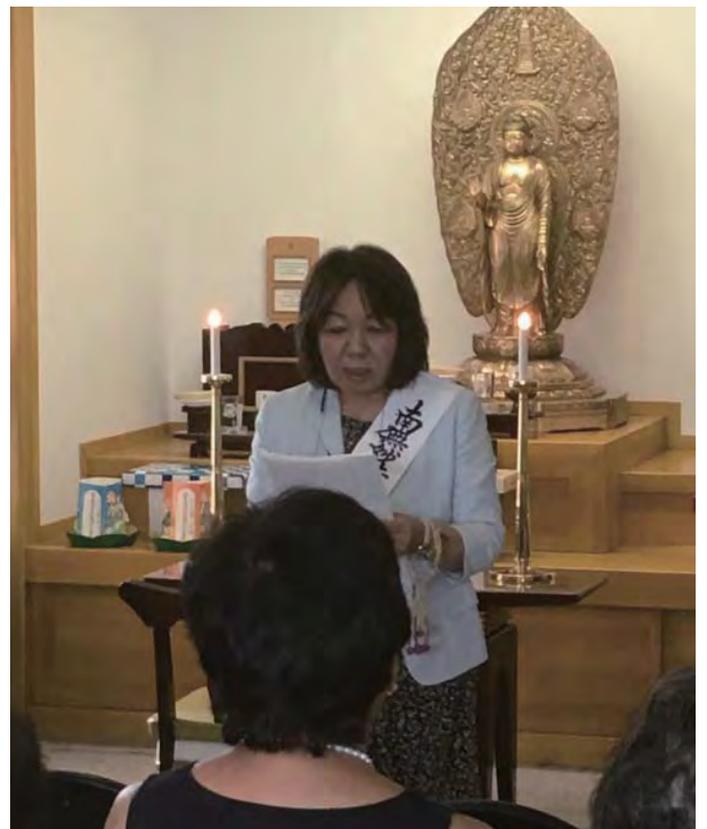
そして私たちの赤ちゃんは小さな遺骨となって家に帰ってきました。退院後も私の胸は飲んでくれる子のないお乳を出そうと張ってきます。その度に泣きながらお乳を搾らなければなりません。私は悲しみに暮れて、魂がぬけたような日々をおくっていました。

思いやりのある夫は、赤ちゃんを亡くしたショックから立ち直れない私をやさしく見守ってくれました。そんな失意の日々でしたが、昭和51年私たち夫婦は長女を授かることができました。しかし元気に育っていく長女を見ていると亡くなった子が余計に不憫になり、私は親として死産した子にも何かできることはないかと思い始めました。

そんな私に佼成会を勧めてくれたのは母と兄でした。昭和53年のお正月、亡くなった子を供養するための経典を買いに私は佼成会を訪れ、教えの縁にふれさせていただいたのです。それから朝と夕、1日2回亡く

なった子どもの成仏を願ってご供養を始めました。すると少しずつ心が落ち着き、日々の暮らしも充実し始めました。主人も「人生は心の持ち方で幸せにも不幸にもなるのだ。この教えはすごいぞ」と言って、青年部活動に参加するようになり、私も少しずつ教会へ通い、組長のお役をいただきました。

長女が3歳になったころ、中耳炎にかかりました。私は娘の病気を法座で話し、法座主さんに結んでいただくと、「あなたが人の意見を聞けないからですよ！仏さまから守られているのですよ」と言われました。しかし私には娘の病気がなぜ守られているのか納得できませんでした。心中釈然としないながらも、法



サハリン法座の式典で説法をする坪内支部長さん

座の後、私は地区の班長さん宅へ手どりに行きました。なにげなく訪れた班長さんの家でしたが、血の気のない表情で現れた班長さんは驚くことを私に告白してくださいました。

「坪内さん、私いま、子どもを降ろしてきたの」。班長さんは「経済的な苦しさから、子どもは一人でいい」とご主人に言われたそうです。私は自分が過去に死産した辛い経験をお話しさせていただきました。それからは「班長さんが今度いのちを授かることがあったら、産んで欲しい」という願いが湧き、毎日班長さんの様子を伺いに行きました。そして、仏さまのお話をさせていただきました。そして少しずつですが、班長さんも仏さまのお心を理解してくださるようになり、お当番修行に参加し、お友だちのお導きもされるようになりました。また、水子となった子にもサンゲのご供養ができ、その後、班長さんは男の子を授かったのです。班長さんは「坪内さんのおかげで、この子が生まれたの」と言ってくださいました。「私でも人さまのお役に立つことができた」と、とても嬉しくなりました。そして、気がつくやうに娘の中耳炎もすっかり良くなり、再発しなくなっていました。この出来ごとを通して、わが子に痛い思いをさせていたのは、人の言葉を素直に聞けない私だったのだと気づきました。私は物事の白黒をはっきりさせたい性格で、理不尽なことは許せず、自分の意見はハッキリ言うほうでした。そんな私に周囲の方は幾度となくハラハラしたことでしょう。あのとき法座主さんから「あなたの心ですよ」と言われた意味がようやく納得できました。班長さんの手取りを通して体験したことが、私に教えをさらに学び、実践させていただきたいという意欲をもたら

しました。そして人さまのお役に立てる私になりたいと強く思うようになりました。やがて平成11年、私は支部長のお役をいただきました。支部長就任の日、教会長さんから「お役を通して徳を身に付け、会員さんから自然に『支部長さん』と慕われ、尊敬されるように精進しましょう」とお言葉をいただきました。

しかし支部長のお役は毎日忙しく、気が休まることはありません。私に結んでいただきたいと相談に来る会員さんには、その方の幸せを真剣に願ってお話しさせていただきませんが、「お説教されている」と反発されることが多く、私はこんなに頑張っているのに、誰もわかってくれないと孤独感でいっぱいでした。支部長になってから半年が過ぎたころ、教会長さんから「仏さまに生かされて、自ら願ってさせていたお役です。もう少し肩の力を抜いてごらん」とお言葉をいただきました。私は支部長として「こうあらねばならぬ、こうあるべき」という考えで自分をしばりつけていることに気づきました。それからは、素直な気持ちで信者さんと善き縁を結べるように念じながら修行させていただいております。

3年前より、私が担当する支部が白石第一支部に移りました。ある日のことです。新任した支部の会員さんと、教会で当番修行をしていると、見知らぬ女性から1本の電話が入りました。かけてきた方は名前を名乗らず、「早朝から70代になる母親が自分を置いて倭成会へ行っているのがおもしろくない。倭成会はおかしい」と苦情を訴える電話でした。私は誠意をこめて女性のお話を伺い、電話の後、支部の皆さんに法座で苦情の電話があったこと、どなたか思い当たる

Spiritual Journey

方はいないかと尋ねました。そのときまで、まさか電話の女性が自分の担当している支部のご家族であったと思いませんでした。法座のなかで「たぶんA組長の娘さんだと思います」と支部の方が教えてくれました。電話をかけてきた女性には精神的な病気があり、母親を自分の思い通りに動かそうとしている。また、その女性は体に外ウを入れたことで、薬を塗る必要があること、A組長さんは娘が外ウを入れたことを許せず、薬を塗ってあげるのも嫌だと支部で話していること、親子関係が悪化していることなど、支部の方が話してくれました。その話を聞きながら、私には娘さんの寂しさや、老いていくA組長さんの辛さが感じられました。そしてあの苦情電話はA組長さんご家族が救われるチャンスを仏さまがくださったように私には思えたのです。法座のときに支部の皆さんに一丸となってA組長さんの救われのために取り組ませてもらいたいとお伝えしました。

さっそく私は主任さんとA組長さんの家に年回供養に行きました。その日からA組長さんは、朝夕のご供養で「娘をありのままに認められる母親になります」とご法前でお誓いするようになりました。さらにA組長さんは徳を積んでいく決意をされ、主任さんと共に願いを持って修行をはじめました。しばらくするとA組長さんの顔色が明るくなっていくのが分かりました。険悪だった親子の仲が徐々に良くなっていると主任さんから報告をもらいました。最近A組長さんが「娘の体に薬を塗ってあげられることが有り難いです」と言われるようになりました、と主任さんから報告を受け、A組長さんの心境の変化を共に喜び合いました。

私は支部長のお役をいただいてから、一人ひとりの会員さんとの出会いも出来事も、すべては私の仏性を開いてくださるご縁であると受け止めています。私自身の根底で常に願っている「人さまのお役に立ちたい」という心があることを自覚して、支部長の使命を果たさせてくださっているご縁なのだと思います。

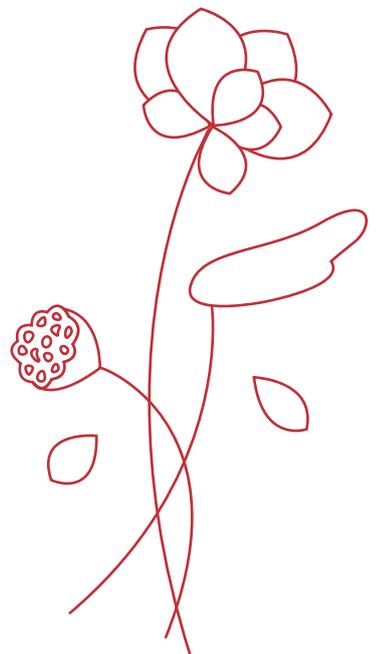
そして、日々ふれ合っている支部の皆さんにも「全ての人との出会いも出来事も仏さまのおはからいであり、仏さまのお慈悲としてしっかり受信できる信者になって欲しい」という開祖さまの願いを私の願いとしています。

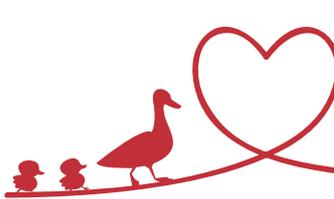
主任さんがA組長さんとしっかり関わってくださったように、支部の皆さんが共に明るく、やさしく、あたたかいサンガとしてふれ合い、自分の心田を耕すことを願っています。これからも支部長として、会員さんの一人ひとりが導きの親になることを目標に精進させていただきます。



サハリンの皆さんと手取りに歩き、強いきずなが生まれた。(左から3番目)

Living the
LOTUS





Child Care lifeline

私が言ったことと反対のことばかりするのはなぜ？

Q 3歳の男の子と6か月の女の子を持つ母親です。最近、3歳の息子が私の言ったことと反対の行動をとるので困っています。どうすればいいのでしょうか？



A 3歳の息子さんのこともしっかりみて、よりよく触れ合おうとしているお母さんは、素晴らしいですね。

3歳頃になると、「本能我」と言って、世の中はすべて自分中心に回っていると思うようになります。自分の考えているように、好きなように動きたいという「自我」が出てくるときなのです。「これを悪意のない自己中心性」とも言います。

お母さんの言ったことと、反対の行動をとって、困った子と見がちですが、むしろ「成長の証」と見守ってあげてください。そして、子どもが反対のことをしたときには、怒りたくなる気持ちを抑え、心おだやかに「どうしたの？ どうしてそれがいいの？ ママに教えて」と訊いてみてください。

ふだん、子どもに話しかける場合、お母さんの都合に合わせて、一方的に命令したり、指示をしたりしていませんか？

こんなお話を聞きました。先日、Aさんは食事のとき、「エプロンしてちょうだいよ」と3歳の娘さんに言ったそうです。ところが娘さんは、「イヤ」と、言うことを聞いてくれません。その様子を見ていたおばあちゃんが、すかさず、「エプロンして見せてくれる？」とお願いすると、「ハイ」とエプロンを持ってきたのだそうです。

「してちょうだい」と言われるより、「して見せて」とお願いされるほうが娘さんはうれしかったのです。また、幼児のころは、習慣化されるまで何回も何回もくりかえすときです。手間ひまがかかるのです。

また、お母さんは6か月の妹さんに手がかかるので、お兄ちゃんは少し愛情不足になってはいないでしょうか？「ママの愛情が妹にとられた…」という欲求不満が「ママの言うことをきかない…」という形で現れる場合もあるのです。子どもとはいえ親の心のありようを敏感に感じとっているものです。

どうか、子どもの思いに心を寄せて触れ合ってみてください。そして、人に迷惑にならない自己主張であれば、おおいに尊重して伸ばしてあげてください。それが、やがて自主性・積極性の芽となっていくことでしょう。

Point 子どもの自我の芽生えは「成長の証」

子どもが自分の思いを主張できるまでに成長したのは、喜ばしいことです。お母さんの言うとおりに子どもだけが、いい子ではないのですよ。

(回答：東京家庭教育研究所)

協力：東京家庭教育研究所

〒166-0012 東京都杉並区和田1-5-12

電話 03(3381)0705

FAX 03(3381)0723

<http://www.kateikyoiku.jp/>

東京家庭教育研究所は、「親が変われば子どもが変わる」という教育原理に基づいて、各地で講演会・講座を開催、また子育ての相談に応じています。多くの方が、「子どもに学ぶ家庭教育」を学び、たくさんの幸せな家庭が誕生しています。

子どもを育てる言葉

「ものは言いよう」で、言い方ひとつで子どものやる気や成長を促すことができるのです。指示されるより期待されるほうが嬉しいことは、先のAさんの例が示す通りです。息子さんは3歳になり、自分の考えがはっきり芽生えてくるころです。これからは今まで以上に、お母さんのかける言葉が子どもの心に響いていく時期なのです。

開祖さまは言葉の使い方について、次のようにご指導くださっています。「『あなたは、ほんとうにいい子ね。必ずすばらしい人間になれる』と、いつも言い聞かせていると、だんだんそういう子どもになっていきます。言葉は魂を持っているのです。良寛さんも『すべて言葉というものはしみじみと言うべし』と言っておられます。相手をほんとうに喜ばす言葉は、ふだんから人のよいところだけを見ようとする習慣をつけないと、なかなか口から出るものではありません」(庭野日敬『人生心がけ』P.161 L3～8)。

言われたことと反対の行動をとる息子さんを、「困った子」と見るのではなく「成長中」と見て、ふだんの生活の中で「ほんとうにいい子だね！すごいね！」と言葉をかけていってください。お母さんの自分に期待してくれる温かい言葉は、必ず息子さんの心に響いて成長を促すものとなるでしょう。

(立正佼成会習学部監修)



Please give us your comments!

Living the Lotus では、皆様のご意見・ご感想を募集しています。

お問い合わせは、以下の E メールアドレスにお願い致します。

E メール : living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp

Director's Column

手どりで学んだ「有り難し」

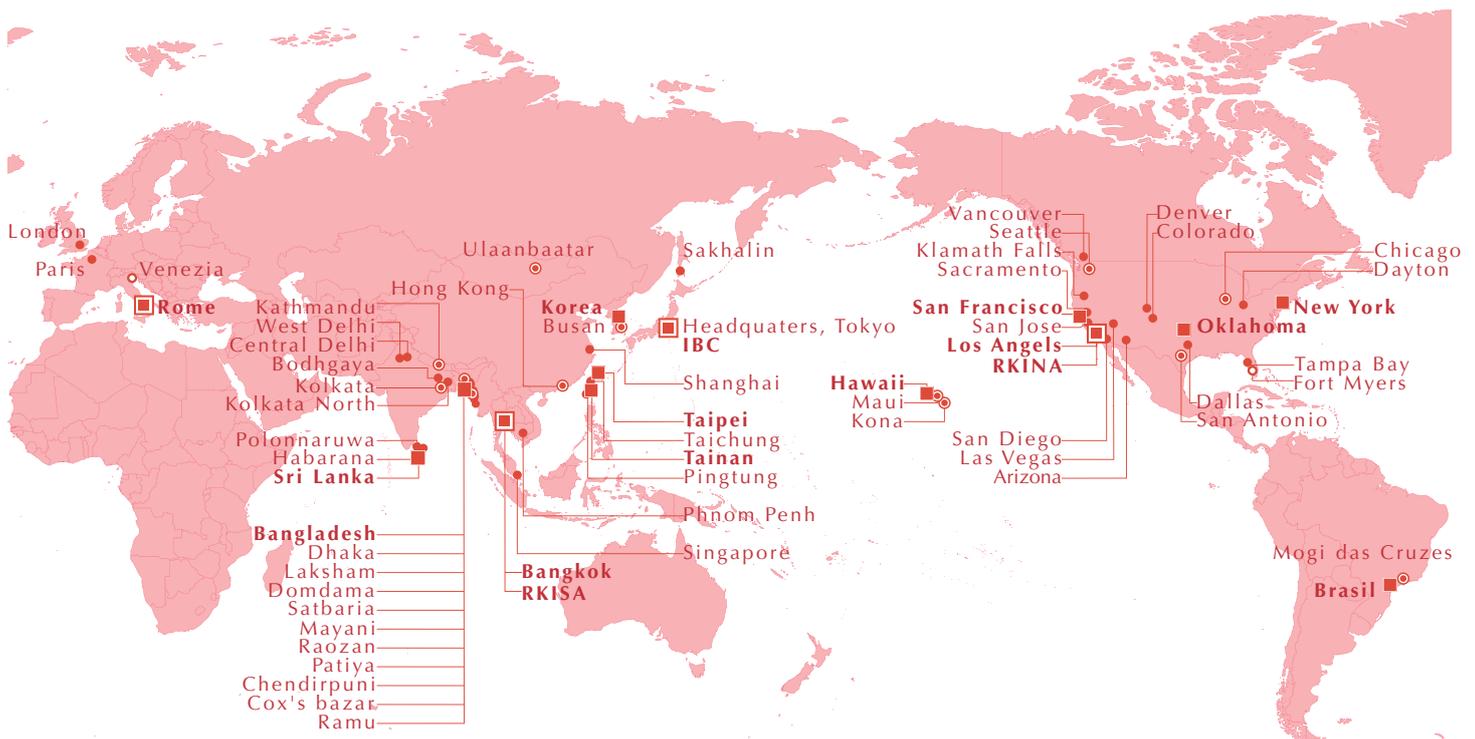
今年の年頭法話「有り難し」を読み、40年程前のことを思い出しました。当時佼成会に入会したばかりの私は、研修会で「私たちは生かされて生きています。だからまわりのすべてに感謝することが大切です」と教えていただきましたが、支えられていることへの感謝の思いはわかりませんでした。

そのころ私はある中学生の手どりを始めました。彼は何かと反抗的な子でしたが、私は彼を自分の下宿に招き、勉強を教えご飯を作ってあげ、思いをかけさせていただきました。ある日彼が家出をしたとの連絡を受け、私は自室のご宝前に座り、ただただ彼の無事を願い祈願供養を始めました。

部屋が薄暗くなってきたときでした。「私の彼に対する思いの何十倍もの思いで、私の両親は私を包んできてくれたんだ。多くの人たちが私を支えてくれている」と気づきました。私は有り難くなり、暗い部屋の中で一人泣きました。彼は私の恩人です。

「人の生を受けるは難し」。尊いものが尊いものとわかった私は、本当に幸せになりました。

国際伝道部長
水谷庄宏



Rissho Kosei-kai Overseas Dharma Centers

2017

Rissho Kosei-kai International

5F Fumon Hall, 2-6-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo, Japan
Tel: 81-3-5341-1124 Fax: 81-3-5341-1224

Rissho Kosei-kai International of North America (RKINA)

2707 East First Street Suite #1 Los Angeles
CA 90033 U.S.A

Tel: 1-323-262-4430 Fax: 1-323-262-4437
e-mail: info@rkina.org http://www.rkina.org

Branch under RKINA

Rissho Kosei-kai of Seattle's Buddhist Learning Center

28621 Pacific Highway South, Federal Way, WA 98003, U.S.A.

Tel: 1-253-945-0024 Fax: 1-253-945-0261

e-mail: rkseattle@juno.com

http://www.buddhistLearningCenter.com

Rissho Kosei-kai of Vancouver

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Antonio

6083 Babcock Road, San Antonio, TX 78240, U.S.A.

Tel: 1-210-561-7991 Fax: 1-210-696-7745

e-mail: dharmasanantonio@gmail.com

http://www.rkina.org/sanantonio.html

Rissho Kosei-kai of Tampa Bay

2470 Nursery Rd. Clearwater, FL 33764, USA

Tel: (727) 560-2927

e-mail: rktampabay@yahoo.com

http://www.buddhismtampabay.org/

Rissho Kosei-kai Buddhist Church of Hawaii

2280 Auhuhu Street, Pearl City, HI 96782, U.S.A.

Tel: 1-808-455-3212 Fax: 1-808-455-4633

e-mail: info@rkhawaii.org http://www.rkhawaii.org

Rissho Kosei-kai Maui Dharma Center

1817 Nani Street, Wailuku, HI 96793, U.S.A.

Tel: 1-808-242-6175 Fax: 1-808-244-4625

Rissho Kosei-kai Kona Dharma Center

73-4592 Mamalahoa Highway, Kailua-Kona, HI 96740, U.S.A.

Tel: 1-808-325-0015 Fax: 1-808-333-5537

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

2707 East First Street, Los Angeles, CA 90033, U.S.A.

Tel: 1-323-269-4741 Fax: 1-323-269-4567

e-mail: rk-la@sbcglobal.net http://www.rkina.org/losangeles.html

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Arizona

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Colorado

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Diego

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Las Vegas

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Dallas

Rissho Kosei-kai of San Francisco

1031 Valencia Way, Pacifica, CA 94044, U.S.A.

Tel: 1-650-359-6951 Fax: 1-650-359-6437

e-mail: info@rksf.org http://www.rksf.org

Rissho Kosei-kai of Sacramento

Rissho Kosei-kai of San Jose

Rissho Kosei-kai of New York

320 East 39th Street, New York, NY 10016, U.S.A.

Tel: 1-212-867-5677 Fax: 1-212-697-6499

e-mail: rkny39@gmail.com http://rk-ny.org/

Rissho Kosei-kai of Chicago

1 West Euclid Ave., Mt. Prospect, IL 60056, U.S.A.

Tel: 1-773-842-5654

e-mail: murakami4838@aol.com

http://home.earthlink.net/~rkchi/

Rissho Kosei-kai of Fort Myers

http://www.rkftmyersbuddhism.org/

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Oklahoma

2745 N.W. 40th Street, Oklahoma City, OK 73112, U.S.A.

Tel & Fax: 1-405-943-5030

e-mail: rkokdc@gmail.com http://www.rkok-dharmacenter.org

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Klamath Falls

1660 Portland St. Klamath Falls, OR 97601, U.S.A.

Rissho Kosei-kai, Dharma Center of Denver

1571 Race Street, Denver, Colorado 80206, U.S.A.

Tel: 1-303-810-3638

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Dayton

635 Kling Dr, Dayton, OH 45419, U.S.A.

http://www.rkina-dayton.com/

Rissho Kosei-kai do Brasil

Rua Dr. José Estefno 40, Vila Mariana, São Paulo-SP,

CEP 04116-060, Brasil

Tel: 55-11-5549-4446 / 55-11-5573-8377

Fax: 55-11-5549-4304

e-mail: risho@terra.com.br http://www.rkk.org.br

Rissho Kosei-kai de Mogi das Cruzes

Av. Ipiranga 1575-Ap 1, Mogi das Cruzes-SP,

CEP 08730-000, Brasil

Tel: 55-11-5549-4446/55-11-5573-8377

Rissho Kosei-kai of Taipei

4F, No. 10 Hengyang Road, Zhongzheng District, Taipei City 100, Taiwan

Tel: 886-2-2381-1632 Fax: 886-2-2331-3433

http://kosei-kai.blogspot.com/

Rissho Kosei-kai of Taichung

No. 19, Lane 260, Dongying 15th St., East Dist.,

Taichung City 401, Taiwan

Tel: 886-4-2215-4832/886-4-2215-4937 Fax: 886-4-2215-0647

Rissho Kosei-kai of Tainan

No. 45, Chongming 23rd Street, East District, Tainan City 701, Taiwan

Tel: 886-6-289-1478 Fax: 886-6-289-1488

Rissho Kosei-kai of Pingtung

Korean Rissho Kosei-kai

6-3, 8 gil Hannamdaero Yongsan gu, Seoul, 04420, Republic of Korea

Tel: 82-2-796-5571 Fax: 82-2-796-1696

e-mail: krkk1125@hotmail.com

Korean Rissho Kosei-kai of Busan

3F, 174 Suyoung ro, Nam gu, Busan, 48460, Republic of Korea

Tel: 82-51-643-5571 Fax: 82-51-643-5572

Branches under the Headquarters

Rissho Kosei-kai of Hong Kong

Flat D, 5/F, Kiu Hing Mansion, 14 King's Road,

North Point, Hong Kong,

Special Administrative Region of the People's Republic of China
Tel & Fax: 852-2-369-1836

Rissho Kosei-kai of Ulaanbaatar

15F Express tower, Peace avenue, khoroo-1, Chingeltei district,
Ulaanbaatar 15160, Mongolia
Tel: 976-70006960
e-mail: rkkmongolia@yahoo.co.jp

Rissho Kosei-kai of Sakhalin

4 Gruzinski Alley, Yuzhno-Sakhalinsk
693005, Russian Federation
Tel & Fax: 7-4242-77-05-14

Rissho Kosei-kai di Roma

Via Torino, 29-00184 Roma, Italia
Tel & Fax : 39-06-48913949
e-mail: roma@rk-euro.org

Rissho Kosei-kai of the UK

Rissho Kosei-kai of Venezia

Castello-2229 30122-Venezia Ve Italy

Rissho Kosei-kai of Paris

86 AV Jean Jaures 93500 Tentin Paris, France

International Buddhist Congregation (IBC)

5F Fumon Hall, 2-6-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo, Japan
Tel: 81-3-5341-1230 *Fax:* 81-3-5341-1224
e-mail: ibcrk@kosei-kai.or.jp <http://www.ibt-rk.org/>

Rissho Kosei-kai of South Asia Division

5F Fumon Hall, 2-6-1 Wada, Suginami, Tokyo, 166-8537, Japan
Tel: 81-3-5341-1124 *Fax:* 81-3-5341-1224

Rissho Kosei-kai International of South Asia (RKISA)

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang
Bangkok 10310, Thailand
Tel: 66-2-716-8141 *Fax:* 66-2-716-8218
e-mail: thairissho@csloxinfo.com

Branches under the South Asia Division

Rissho Kosei-kai of Central Delhi

224 Site No.1, Shankar Road, New Rajinder Nagar, New Delhi,
110060, India

Rissho Kosei-kai of West Delhi

66D, Sector-6, DDA-Flats, Dwarka
New Delhi 110075, India

Rissho Kosei-kai of Kolkata

E-243 B. P. Township, P. O. Panchasayar,
Kolkata 700094, India

Rissho Kosei-kai of Kolkata North

AE/D/12 Arjunpur East, Teghoria, Kolkata 700059,
West Bengal, India

Rissho Kosei-kai of Bodhgaya Dharma Center

Ambedkar Nagar, West Police Line Road
Rumpur, Gaya-823001, Bihar, India

Rissho Kosei-kai of Kathmandu

Ward No. 3, Jhamsilhel, Sancepa-1, Lalitpur,
Kathmandu, Nepal

Rissho Kosei-kai of Singapore

Rissho Kosei-kai of Phnom Penh

#201E2, St 128, Sangkat Mittapheap, Khan 7 Makara,
Phnom Penh, Cambodia

Thai Rissho Friendship Foundation

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang
Bangkok 10310, Thailand
Tel: 66-2-716-8141 *Fax:* 66-2-716-8218
e-mail: info.thairissho@gmail.com

Rissho Kosei-kai of Bangladesh

85/A Chanmari Road, Lalkhan Bazar, Chittagong, Bangladesh
Tel & Fax: 880-31-626575

Rissho Kosei-kai of Dhaka

House#408/8, Road#07(West), D.O.H.S Baridhara,
Dhaka Cant.-1206, Bangladesh
Tel: 880-2-8413855

Rissho Kosei-kai of Mayani

Mayani(Barua Para), Post Office: Abutorab, Police Station: Mirshari,
District: Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Patiya

Patiya, sadar, Patiya, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Domdama

Domdama, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Cox's Bazar

Ume Burmese Market, Main Road Teck Para, Cox'sbazar, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Satbaria

Satbaria, Hajirpara, Chandanish, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Laksham

Dupchar (West Para), Bhora Jatgat pur, Laksham, Comilla,
Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Raozan

West Raozan, Ramjan Ali Hat, Raozan, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Chendirpuni

Chendirpuni, Adhunagor, Lohagara, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Ramu

Rissho Kosei-kai Dhamma Foundation, Sri Lanka

382/17, N.A.S. Silva Mawatha, Pepiliyana, Boralessgamuwa, Sri Lanka
Tel & Fax: 94-11-2826367

Rissho Kosei-kai of Polonnaruwa

Rissho Kosei-kai of Habarana

151, Damulla Road, Habarana, Sri Lanka

Other Groups

Rissho Kosei-kai Friends in Shanghai